

としよかん 通信

OUR LIBRARY

東1北4/☎733016

ホームページアドレス

<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/library/index.htm>

蔵書検索 <http://www.bihoro.lib.k-cns.jp>

皆さまのご利用

ありがとうございます
〜過去最高を記録〜

町民の皆様にご愛され親しまれる図書館づくりに私ども職員日々努力しておりますが、このほど19年度の利用状況がまとまりました。

●来館者数(平成19年度)

77,974人

18年度76,605人

前年比+1,369人増

●貸出冊数(平成19年度)

158,715冊

18年度152,001冊

前年比+6,714冊増

この表からもお分かりのように来館される皆さまのおかげで

「来館者数」「貸出冊数」のいずれにおきましても、これまでの最高を記録致しました。また、本館の事業推進に当たっては、「ボランティア」・「図書館と歩む会」を始め大勢の方々による数々のご協力の賜と職員一同心から感謝致しております。

私たちはこの結果に満足することなく、これからも利用者の方々のニーズに応じたきめ細かいサービスに努める所存です。これまでも増して図書館をご利用くださいますようお願い申し上げます。

また、図書館では町内2カ所にユニットライブラリーを開設しております。お近くの方はこちらの方もご利用ください。

・美富ユニットライブラリー
(美富富住集会所内)

・南ユニットライブラリー
(南公住団地内)

*開館時間
毎週土曜日午後1時〜4時

図書館の重要性

「知るは楽しみなり」という言葉がありますが、老若男女を問わず、分からないことが分かるようになったり出来ないことが出来るようになるというくらい嬉しいことはありません。

中でも知的欲求を満たしてくれるのが読書であり、読書の機

会を広げてくれる場が図書館だと思えます。

図書館では町民一人ひとりの生涯学習の一翼を担う観点から家庭・学校・地域を始め各方面と連携を深め、次に記すような多様な事業の推進を行っております。個々の目的に応じてご利用いただきたいと思えます。

主な行事紹介

幼児・小学生には

○ブックスタート

赤ちゃんにとって、抱っこされた肌の温もりを感じながら優しい言葉を聞くことは、成長過程にとつとでも大切な時間です。そして、絵本を読み聞かせることは、誰もがごく自然に優しい言葉を語りかける方法の一つなのです。

これは絵本を通し「親子が共に楽しみ絆を深める」きっかけづくりとして平成16年度から始まった事業です。

赤ちゃんの10カ月検診時(年十回予定)に、図書館司書及びボランティアが出向きブックスタートパック(絵本2冊、ガイドブック等入り)をプレゼントしております。

○絵本とあそび!

毎月第2木曜日午前10時30分
毎月第4木曜日午後2時
「親子がおはなし・手遊びなど

を通してふれあう場」として図書館職員・ボランティアによる乳幼児向けのおはなし会です。

手遊び・わらべうた・絵本の読み聞かせや紙芝居、ときには、人形を使ったお話やエプロンシアターなども行っております。親子で楽しいひとときをどうぞ。

○おはなしのへや

毎月第1・3・5木曜日
午後3時〜

幼児から小学校低学年児童を対象に、図書館職員とボランティアにより、絵本の読み聞かせや紙芝居を行う30分ほどの楽しい時間です。

○おはなしと工作の広場

4・7・11・2月
第4土曜日午前10時〜
季節や節句などをテーマに、職員が本の紹介や読み聞かせをし、子ども達と簡単な工作を行います。

今年、1回目がある4月26日に行われ、14名の子どもが職員の指導のもと、5月5日のこどもの日にびつたりのこいのぼりづくりに取り組みました。身近な材料で創意工夫に満ちた作品が出来上がり嬉々とした表情で満足げに帰っていかれました。

この広場は今後3回予定しております。クリスマスやひな祭りなどの行事をテーマに、楽し



△4月に行われたこいのぼりづくり

「子どもの読書活動推進」 のために

《読書活動は、「子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないもの」(子どもの読書活動の推進に関する法律第2条)であり、社会全体でその推進を図っていくことは極めて重要である。》

これは、平成20年3月に閣議決定された「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の冒頭の文章です。

皆さんご承知のように、読書によって読解力や想像力、思考力、表現力等の生きる基礎力を養うとともに、多くの知識を得たり、多様な文化を理解したりすることができま